

市民文芸

短歌

令和元年
阿南市春季短歌誌上大会選

佳作 かつ飛ばせ声援送る「富西校」へ破れるほど
青木 弘子

佳作 茹でたての筍もらい木の芽和え春の息吹が身
入谷五十鈴

佳作 内を廻る
井上 正恵

佳作 春宵のテレビ「タモリ」と大鳴潮渦の底なる
五島 秀子

佳作 用ありて来たる市役所六階へ二往復する今日の
吉永賀代子

佳作 物忘れのテストを皆がしてくれる小六の孫に
松本加代子

佳作 除幕の日にぎわい返る寺の庭に集いし人の
佐々木夫美

佳作 シャッターに閉店の札はられて見慣れし人
宮本久美子

佳作 激動の時代踏み来し八十六歳「令和」となり
鹿島壽美子

佳作 彼岸会に寺へと急ぐわが歩み全速なのにまだ
まだ着かぬ

佳作 青木 恭子
実家よりくれし掛け軸つるかめを卒寿のわれ
は今年も飾る

俳句

阿南市俳句連合会選

山霧や昭和息づく無人駅
青木 慧

あつあつの御飯にのせし柚の味噌
中川よし子

甲子園の選手は「選士」敗戦忌
大西 裕子

シーバスを釣りては放つ秋の宵
佐野 極童

カナカナや独り夕餉の箸をとる
吉田 當代

花の鉢贈り呉れたる敬老日
田木 勲

秋の田の昨日と違う夕景色
古川北斗星

新米の袋積み上げ待つ出荷
中分 明美

鳴かぬ虫鳴く虫もいて籠の中
近藤 まい

川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

うるさくてありがたいのはおかあさん
鈴木レイ子

うるさいが悪気は無いとお茶仲間
恋の花咲いたとたん蝶が舞う
祈り背にレスキューの汗顔に映え
一步引く心の余裕見せておく
日の出見る下弦の私宇宙旅
滝川 太郎
二階千代美
野口 吾朗
野村 敏子
持木 寿栄

一般応募

低金利忍び遣り繰りせないけん
脳トレもリハも老化が先を越す
この顔がいけない恋をしてみよう
体力の低下防止へ嫁の味
島尾美津子
武田 敏子
仁井 信子
吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

令和改元を恭賀す

内外追尋劫後償
熟圖讓位願望詳
令和聖代國威舉
萬歲祈求一億聲
内外の追尋劫後の償ひ
熟圖の讓位願望を詳らかにす
令和の聖代國威を挙げ
万歳祈求す一億の声
神原 常経

晚秋偶吟

叢中老蚕送秋時
遠樹黄昏月似眉
今夕寒庭禪寂境
清吟唧唧露珠垂
叢中の老蚕 秋を送るの時
遠樹 黄昏 月眉に似たり
今夕寒庭 禪寂の境
清吟唧唧 露珠垂る
荒瀬左知子

林徑の廢居

秋風一日試山行
林徑深攸逢屋傾
識否百年遺棄恨
蔓蘿蔽盡寂無聲
秋風の一日 山行を試み
林徑 深き攸 屋の傾くに逢う
識るや否や 百年 遺棄の恨み
蔓蘿蔽い尽くし 寂として声なし
大地 和子